



こんにちは。トリプルアイズの光石です。

いつもお読みいただきありがとうございます。

今日は七夕です。コロナの影響で2年間会えなかった織姫と彦星も今年は会えると良いですね。

さて今回はまず、「便利なハンディタイプが登場！ アルコール検知 AI クラウドシステム・AIZE Breath」についてお届けします。

トリプルニュースでは、「ヤマダ Pay 顔認証決済のサービス提供拡大」「新宿マルイ 本館ポップアップストアで来店者属性分析を本格スタート」「商業施設 OOTEMORI での実証実験終了」についてご紹介いたします。

さらに IT 批評では「量子コンピューターを理解するための量子力学入門」最新記事についてご紹介します。

今回も、最後までご覧いただくと嬉しいです。

-----<目次>-----

1. 「便利なハンディタイプが登場！ アルコール検知 AI クラウドシステム・AIZE Breath」
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

1. 「便利なハンディタイプが登場！ アルコール検知 AI クラウドシステム・AIZE Breath」



アルコール検知AIクラウドシステム
AIZE Breath
ハンディタイプ

ドライバー
1人に1台

離れた場所でも
しっかりチェック

自動車を使用する事業者の安全運転管理をサポートするアルコール検知器、今回ご紹介するのはハンディタイプです。トリプルアイズでもまもなく取り扱いがスタートいたします。

ハンディタイプは、ドライバー1人に1台の個人使用のための検知器。離れた場所でもしっかりアルコールチェックをすることができます。

AIZE Breathの特長と言えば、AIクラウドシステム！ お手持ちのスマホで顔認証打刻を行い、ハンディタイプの検知器に息を吹きかけ自動でアルコール検知。打刻データとアルコール測定結果がクラウドシステムに記録されます。

外出先、営業先、自宅など場所を選ばずに顔認証で勤怠打刻、アルコールチェックができると、その場所から運転して現場に直接向かうことができます。データはクラウド一元管理ですので、ドライバーさんにとっても総務で管理する方にとっても効率的ですね！

アルコールチェックと勤怠を自動で一括管理できるトリプルアイズの「アルコール検知 AIクラウドシステム・AIZE Breath（アイズブレス）のハンディタイプ」、詳細情報は随時ご紹介いたしますので、引き続きチェックいただけますと幸いです。

アルコール検知器の本命「AIZE Breath」は[こちら](#)

2. トリプルニュース

「ヤマダ Pay 顔認証決済のサービス提供拡大」



2022年6月20日（月）、株式会社トリプルアイズは、株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長兼社長 CEO：山田 昇）および株式会社ヤマダデンキ（本社：群馬県高崎市、代表取締役社長：上野 善紀）と共同で開発した顔認証決済アプリ「ヤマダ Pay 顔認証決済」のサービス提供を拡大いたしました。

「ヤマダ Pay 顔認証決済」とは、お客様が顔登録用アプリを利用し、ご自身の顔画像を事前登録後に、ヤマダデ

ンキの店舗で会計時に顔認証をすることで、財布もカードも持たずに手ぶらでお買物ができる決済サービスです。

顔認証 AI にはトリプルアイズ独自開発による画像認識プラットフォーム・AIZE（アイズ）が採用されています。

ヤマダデンキの顔決済サービスは 2020 年 2 月 28 日にスタートし、ヤマダ LABI カード会員限定で提供されてきました。

これまでに日本全国のヤマダデンキ約 700 店舗で採用され、これまでに一度も誤認証を記録することなく、高い信頼性が認められています。

このたび、顔認証決済のいっそうの普及を目指し、ヤマダ NEOBANK 口座を開設したお客様も顔認証決済が可能となりました。

こちらのサービス提供は、2022 年 6 月 20 日（月）からスタートし、先行リリースの対象店舗は 1 都 3 県の LABI 13 店舗となり、全店展開は今月を予定しています。

<https://www.3-ize.jp/information/2492/>

「新宿マルイ本館ポップアップストアで来店者属性分析を本格スタート」



2022 年 7 月 1 日（金）、株式会社トリプルアイズは、アイエント株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：大森智人氏）と共同で、新宿マルイ 本館 3 階のポップアップストア「iDiscoveries」において、AI による来店者属性分析を開始いたしました。

本格導入に先立ち、先日行われた実証実験では、ポップアップストア内に小型カメラを設置し、顔画像による来店者属性分析と群衆分析を同時に行いました。

来店者属性分析がマーケティング戦略において大きな効果が認められたことから、今回の本格導入につながりました。

来店者属性分析に用いられた弊社の「AIZE Research」は、顔認証技術で来店客の属性を「見える化」するクラウドシステムです。

店内に設置されたカメラで取得した顔画像データを、クラウド上にある画像認識 AI「AIZE」が解析し、来場者数をカウントするとともに男女比率や年齢など来店者の属性を分析します。店内を網羅的に撮影することでリアルな来店者分析が可能になります。

POPUP 店舗「iDISCOVERIES」を運営するアイエントは、店舗における AI 活用を進めるリテールテックサービスを提供しています。

「iDISCOVERIES」では、お客様は、自由に商品を手に取りながら、商品単位に設置される QR コードを自分のスマホで読み取ることで、開発のストーリーやこの商品を手にすることで何が自分に与えられるのかを発見することができます。

購入する場合は、LP から遷移する各ブランドの公式 EC サイトで購入することになり、レジは存在しません。

<https://www.3-ize.jp/information/2521/>

「商業施設 OOTEMORI での実証実験終了」



東京建物株式会社（東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：野村 均）が開発した「大手町タワー」内の商業施設「OOTEMORI」（東京都千代田区）にて、2022年1月より5カ月にわたって行われた顔認証によるポイント付与の実証実験が終了いたしました。

本実証実験は、東京建物グループである株式会社プライムプレイス（東京都中央区、代表取締役：川村崇）からの委託で、トリプルアイズとイノテック株式会社（神奈川県横浜市、代表取締役社長：大塚信行）が共同で行ったものです。

本施策の特徴としては、来店者はポイントを獲得することで割引券と引き換えることができ、各テナントには取得した膨大な顧客データをプライムプレイスがカスタマイズして共有することでテナント利益につなげるWIN-WINの仕組みを構築したことです。

キャンペーンに参加されたお客様からは、検温や顔認証にかかる手間がかからずスムーズに買い物ができたこと、顔認証の精度が思ったよりも高かったこと、個人情報と紐付けない形なので安心して参加できたことなどについて、高い評価をいただきました。

参加テナントからは、「ターゲティングを意識したメニュー開発につなげて単価のアップを図りたい」「時間別来店時間がデータ化されたことでシフト調整に役立てることができた」など、今後のデータを活用した店舗運営への期待が伺えました。

プライムプレイスは、取得した属性データから来館者の年代や性別を割り出し、今後のマーチャндаイジングやテナントリーシング、販売促進施策に活かしていく方針だということです。

<https://www.3-ize.jp/information/2516/>

3. IT 批評

記事更新のお知らせ

「量子コンピューターを理解するための 量子力学入門」

第2回 量子力学とは何か？

——量子コンピューターは「ミクロな世界を忠実にシミュレーションしうる計算機」



初回から大好評の月一連載の第2回です。量子コンピューターと量子力学について知る、かっこの教科書です。

一般の方が量子コンピューターについて理解するには出色の内容だと思います。

これが量子コンピューター解説のスタンダードとなって、ここからたくさん引用される気がしてきました。ぜひ
ご一読ください！

<https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

梅雨明け後の猛暑、戻り梅雨で再び雨の一週間と、天気や気温に大きな変化があったここ最近、皆さん体調に影響はなかったでしょうか。

さて、先日娘の保育園で夏祭りが開催され出席してきました。浴衣を着た子どもたち、短冊が飾られた笹、金魚釣りに見立てたおもちゃ釣り、画用紙の提灯で飾られた園内で、一足先に七夕を感じてまいりました。

あっという間に過ぎていく季節の中、こういった催しは四季を感じられて有難いですね。個人的な話題で失礼いたしました。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
